

● 7月8日（土） 二風谷に寄って苫小牧東港からフェリーで帰途へ 超快晴

・4時過ぎ起床。外は霧が立ち込めているが、朝陽が霧を通して差しこんでくる。今日も良い天気だな。長袖を着ているが、海から来る風が涼しくてちょうど良くて持ちいい。

・今日で今年の「北海道山紀行」を終了して帰途に着くが、苫小牧東港を19時半に出港するフェリーに乗るまで丸々一日時間がある。二風谷へ行ってみよう。二風谷は1980年代に沙流川の二風谷に北海道電力がダムを建設する計画に対し「二風谷ダムの建設はアイヌの聖地を破壊しアイヌ文化を破壊するものだ」と10年以上も争われ、北海道の原住民「アイヌ」を全国的に認識させた歴史的に重要なところである。私は以前にも行ったことがあるがあまり印象が無いので再度行ってみようと思った。

・7時半に「海峡さん」に挨拶して道の駅「みついし」を後にした。気持ちよく晴れわたった太平洋を右手に見て、国道235号線を北上。今年は何回も利用した道の駅「新冠」でハイセイコーの像に別れの挨拶をして、何回も通ったサラブレッド銀座に入り、色々お世話になった「ふかふか亭」の前を通り、道道71号線を貫気別へ向かった。



霧が立ち込めている



・この道がなんと長いことか！ 炎天下のくねくねした道道71号線を嫌になるほど走らされてやっと貫気別へ来た。ここから国道237号線に出て二風谷まではすぐ。さすがに国道は車が多い。

・まず二風谷ファミリーランドへ入ってみたが、単なる丘陵の公園、オートキャンプ場がメインでこれと云った遊戯施設は無い。

・とにかく陽ざしが暑いので日影を探したが全く見当たらない。公園を出て裏の道路にやっと木陰を見つけて路駐。車もほとんど通らないので路駐でも良いだろう。日差しは強いが日影は風邪もあり涼しくて気持ちが良い。

昼も近いので昼食を摂りしばらく昼寝をした。





アイヌの文化と土地を犠牲にしてできた二風谷湖

・二風谷ダム建設で、アイヌの文化と土地を犠牲にしてできた二風谷湖の脇に「沙流川歴史館」と「二風谷アイヌ文化博物館」「アイヌ文化資料館」が建っている。沙流川歴史館を見学したが、いろいろ考えさせられる重い所だ。



・ここから苫小牧東港はすぐ近くだ。今から行っても早すぎるので途中の道の駅「むかわ四季の館」で待機しよう。なにしろ陽ざしが暑いので道の駅館内へ逃げこんだ。3時過ぎまで道の駅で時間を潰し、ちょっと早いけど、苫小牧東港へ向かった。もう数台の車が来ている。気の早い奴がいるものだ。

乗船手続きを済ませ車列に付けたが、前から4台目だ。この港は町から離れた辺鄙な所にあり、周りに店など何もないので、ただじっと我慢して待つだけだ。窓を全開にして灼熱地獄を耐える。風はやや涼しいがあまり吹かない。船は「ゆうかり」、もう入港して荷物の積み下ろしをしている。車が続々と到着しバイクも並びだした。トレーラーでの荷物の積み下し、積み込みを見ながら退屈な時間を過ごすこと3時間弱、6時45分乗船開始した。



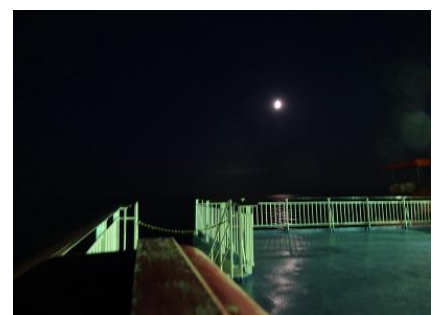
・部屋は4階のステートB、471室。往路に乗船した新造船「らべんだあ」のステートBにはトイレとシャワーが付いていたが、この船のステートBにはトイレ、シャワーの設備が無い。少し安いけど、えらい違いだな。

でもツインの部屋を一人で使えるから Good!

・入室して荷物を放り込んだらまず風呂へ。シーズン前の南行便だから客は少ない。風呂は独占状態でのんびり疲れを癒やした。風呂から出たらレストランで夕食。生ビールが喉を潤す。

・部屋へ戻り「じゃがりこ」をつまみに「のどごし生ロング」で飲み直し。そのまま熟睡に入った。

船は満月に照らされた海上を滑るように快走していた。



● 7月9日（日）

フェリーは秋田港に寄って新潟港へ・帰宅

快晴

・夏の日本海はどうしてもこんなに静かなのだろうか？ 船は微動だにしないし、騒音もほとんど無い。熟睡して、朝4時半に目が覚めた。何となく気だるい。みんな寝ているのか船内にまだ人の気配はない。トマトサンドと牛乳で朝食を済ませテレビを見たり、日記を書いたりして過ごす。船は鏡のような海面を滑るように快走している。6時に船内アナウンスがあり「あと1時間くらいで秋田港に入港する。」とのこと。乗客が目覚めて動き出した。

・時間通り秋田港に入港し、7時半から下船、荷物の積み下しが始まり、乗船、荷物の積み込みを終えて、8時45分、秋田港岸壁を離れて新潟へ向かった。甲板からずっと様子を眺めていた。



秋田港に入港



秋田港を出港



・今10時。天気は快晴。日差しが痛い。

鏡面の海をフェリーは新潟へ向けて快走している。

今年の「北海道山紀行」も無事に終わった。

今年は念願の「幌尻岳」に登り「シレットコスミレ」に会ってきた。

私の10年余にわたる北海道の山歩きもこれで終わりにしよう。



でも 北海道は永遠に素晴らしい！

たぶんこれからも、山歩きを抜きにしても北海道を旅することは続くと思う。

完